



新年度 あいさつ



京都府教育委員会教育長
前川 明範

昨年開催された「大阪・関西万博」は、子どもたちにとって、様々な国の文化や価値観に触れ、多様性への理解を深める貴重な機会となりました。こうした生きた体験を通して、国際的な視野を養い、自分自身の価値観を確立することは、子どもたちが変化の激しい時代を自分らしく、豊かに生き抜くための大切な糧となっていくものと考えております。

そうした中、高校教育においては、すべての生徒が夢や希望の実現に向けて学ぶことができる高校を目指し、教育内容と施設設備の両面での更なる充実を図ってまいります。具体的には今年度、「新たな留学制度」の創設や府立高校の1年生全員を対象に、いつでもどこでも英会話レッスンが可能となる「生成AI 英語アプリ」の導入、施設面では、体育館と特別教室の空調整備やトイレの洋式化を令和8年度からよりスピード感を持って実施するなど、府立高校の魅力を一層高めてまいりたいと考えております。

すべての生徒に学びの場を保障するという公立高校の使命を果たしつつ、産学公民の連携により、学校の枠を越えた学びの場を創出することで、京都から日本の未来を切り拓く人材を育成してまいります。

また、現在の中学3年生の皆さんから入試制度が変わります。中学生の皆さんには自らの興味・関心を大切にしながら、将来なりたい姿を思い描き、進路選択・高校受検に臨んでいただきたいと思います。

そして、より良い教育の実現のためには、子どもたちへの取組だけではなく、学校教育を支える教職員の働き方改革についても一層進める必要があります。

「働きやすさ」と「働きがい」を両立した学校を目指すことで、教職員が子どもたちと全力で向き合える環境が確保され、教職員だけでなく、子どもたちにとっても魅力のある学校づくりにつながっていくと考えております。

今後も、子どもたちをしっかりと未来に向かって送り出せるような環境づくりに努めてまいりますので、保護者や地域の皆様方には、引き続き、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

令和8年度から新制度 海外探Q留学



■京の高校生「海外探Q留学」応援事業

探究のテーマ、留学先、期間を自ら決め、留学プランを設計

○留学コース

- 京の高校生探究コース (80名程度)
地域の課題解決や魅力の再発見に繋がるテーマを探究
個人参加 または チーム参加 (最大6名)
- 全国共通探究コース (20名程度)
(STEAM/スポーツ・芸術/社会課題/マイ好奇心)
個人参加

○令和8年度スケジュール

	令和8年			令和9年			
	1月~3月	4月	5月	6月	7月~12月	1月	2月
2・3年生	応募申請	書類審査 面接審査	採否通知	事前オリエンテーション 壮行会	探Q留学期間	事後オリエンテーション 成果報告会	
1年生		応募申請	総合審査				

派遣人数

最大 **100** 名

奨学金

27 ~ 83 万円

※返済不要

留学期間

令和8年7月10日~令和9年1月15日の間で
14日以上93日以内

留学先や留学期間、家計基準に応じて決定

(例) アメリカに1か月間...最大51万円

(渡航経費などの留学準備金を含む)

■探Q留学を経験した生徒の様子 福知山高校Sさん

テーマ：アメリカで見た
「外から見た日本の魅力」



留学先：アメリカ フロリダ州

活動内容：現地のモリカミ博物館で日本文化の紹介に挑戦
デルレイビーチ市役所の職員へのインタビューを実施
日本文化が想像以上に高く評価されていることを実感

今後の目標：地元と世界をつなぐ存在になりたい。

詳しい情報はこちら ▶



シリーズ人権

「日本国憲法から人権を考えよう」

戦後 80 年の節目が過ぎ、日本国憲法について改めて考えてみましょう。憲法には、「国民主権」「基本的人権の尊重」「平和主義」といった、日本の社会を支える原則が示されています。

人権とは、すべての人が安心して、互いに尊重されながら生きるために保障されている権利のことです。誰もが、まわりの人を大切にし、その人の気持ちや立場を傷つけないようにする義務と責任があることを忘れてはいけません。

人権教育を通じて育てたい資質・能力は、自分の人権を大切に、他の人の人権も守ろうとする意識・意欲・態度です。挿絵にある屈託なく笑い合う生徒の姿が示すように、自分や友達を大切にすることから始めましょう。



令和7年度人権擁護啓発ポスター
コンクール入選作品
京都府中小企業団体中央会会長賞
京丹後市立網野中学校 1年
藤田 真暖 さん

令和8年度 京都府教育委員会の主な取組

京都府教育委員会では、京都府ならではの教育を進めていくための指針『第2期京都府教育振興プラン』に基づき、様々な取組を実行しています。

※新は令和8年度から新たに始まる取組です。

すべての生徒が夢や希望を持ち、未来に向かっていきいきと学ぶことができる学校へ

新 高校生発案型 クリエイティブハイスクール創造事業

全国初!

高校生の自由な発想を応援し、学校ごとに
生徒主導で企画・立案した学びの魅力創造に繋がる
新たな取組を支援
活動費：**上限100万円**
(企画提案書の内容に応じて決定)



生徒の夢をかなえます!

新 英会話どこでもレッスン事業

都道府県初

全府立高校の1年生が学校で使うタブレット端末に
生成AI英語アプリを導入し、グローバル社会で
通用する英会話力を育成

新 「高校生のための京都学」講座の開設

京都の**ほんまもん**の価値を学ぶ「京都学」講座の
令和9年度開設に向けて、府立高校5校(予定)で
先行実施

新 府立高校「未来の教室」事業

全府立高校の普通教室に**インタラクティブ型の
電子黒板**を整備し、学校外との連携を強化

府市連携

京の高校生探究パートナーシップ事業

「京都探究エキスポ」 & 「京都探究クエスト」の開催
↑府立・市立高校が一堂に 会し、学びの成果を発表
↑京都が世界に誇る歴史的建造物等の文化財を舞台に、世界を見つめ、自分を深く問いなおす交流会

府立高校と京都市立高校の
生徒が連携し、探究活動に
取り組むことにより、高校生
の学びの充実を図り、未来の
創り手として成長し続けるた
めの力を育成



▲ 京都探究クエストの様子



全国トップ
府市連携

新 京の高校生「海外探Q留学」応援事業

語学力・成績不問の**海外探究留学支援制度**を創設
京都から日本の未来を切り拓くことができる
イノベティブ人材を育成



詳しくは表紙に!

新 特別教室・体育館の空調整備とトイレの洋式化

府立学校で学ぶ**児童生徒のニーズ**を踏まえ、
5年間で空調整備とトイレの洋式化を実施
安心・安全な教育環境と、
災害時の避難所としての機能を確保



5年で
全校実施!

R8より
府市連携

「学び・繋がる未来の扉」京都プロジェクト

同じ興味・関心を持つ異なる学校の生徒が地理的制約を超えて
オンラインを活用し学び合う「**学びのWEBラボ**」の実施
取組例：気象・ロボット・プログラミング等

府立高校のスケールメリットを活かし、
他校で行われる大学教授や経営者による
特別講義などをオンラインで受講できる
「**府立学校どこでもスペシャル講座**」を開催



選ばれる府立学校を目指します!

健やかな身体の育成

新 学校給食費負担軽減支援事業



物価高騰が続く中、子育て世帯
への支援を強化する観点から、
小学校における学校給食費の
保護者負担軽減を実施

新 京のアスタマプロジェクト

府内全域で、幼少期からの
運動の基礎能力の向上を図る
プログラムを実施し、アスリー
トのたまごを育成



地域部活動の推進

中学校の部活動の地域展開や地域クラ
ブ活動の推進を支援。また、専門的指
導員の配置により、部活動環境の充実
と教員の負担軽減を図る

確かな学力の育成

京都府学力・学習状況調査 ～学びのパスポートの実施～

小中学校で1人1台端末を用いた調査を
実施し、児童生徒一人一人の**学力の伸び**
や**非認知能力の変容**を分析し、学力向
上や授業改善を図る

子どものための 京都式少人数教育の推進



義務教育9年間を見通し、児童
生徒や学校の実態に即して必要な
教員を配置し、児童生徒一人一人
の**確かな学力の定着**を目指す

子どもの教育のための総合交付金

府と市町村が一体となって
「**教育環境日本一**」に向けた取組を進め
るため、市町村が行う地域の実情
に応じた特色ある取組を支援

文化の力で世界に貢献

特別史跡

恭仁宮跡の文化観光拠点化

新たに「**特別史跡**」に指定された京都府南部に
ある奈良時代の都、**恭仁宮跡**において
文化・観光拠点の実現に向けたイベントの開催と
文化財の活用・整備に関する基本構想の策定



丹後郷土資料館のリニューアル整備

丹後地域の歴史・文化の探訪と観光の拠点施設と
なる**ハブ・ミュージアム**を目指し、リニューアルを
行う



豊かな学びを育てる環境づくり

一人一人に寄り添うきめ細かな支援 (いじめ防止・不登校支援等)

スクールカウンセラー等の専門スタッフの配置や校内外での多様な居
場所づくりなど、**一人一人に寄り添う総合的なサポート体制**を充実

向日が丘支援学校の校舎等整備推進

教育と福祉の切れ目のな
い支援や教育環境の実現
に向けて、校舎を全面改
築**令和9年夏に新校舎へ**
移転予定



詳細は

京都府教育委員会 令和8年度の予算

検索

令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰

学校教育において素晴らしい成果を挙げた教職員等が表彰されました。

【教職員】

向日市立第2向陽小学校	教諭	天野 鈴代
京田辺市立新小学校	教諭	野村 幸人
舞鶴市立余内小学校	教諭	山本 朝子
京丹後市立久美浜小学校	教諭	川上 由希子
精華町立精華中学校	養護教諭	岡本 友子
亀岡市立南桑中学校	教諭	井尻 智子
京都府立北桑田高等学校	実習教諭	上田 敬史
京都府立久御山高等学校	教諭	森田 泰史
京都府立大江高等学校	教諭	梶井 真弓
京都府立向日が丘支援学校	教諭	高橋 真吾

※在籍校は受賞当時の学校

【教職員組織】

地域との協働による高等学校教育改革推進チーム
(京都府立京都すばる高等学校)

京都府立北桑田高等学校 実習教諭 上田 敬史



受賞者をご紹介します！

京都府唯一の林業科「京都フォレスト科」で、学校設定科目「ログハウス基礎」の実習主担当として研究と実践を重ね、府内産木材の活用促進やSDGsへの貢献に尽力しています。

木工機械や大型林業機械の操作・安全指導にも精通し、実習科目の中心的役割を担っています。

また、自転車競技部を全国有数の強豪校へ導き、日本代表選手らを育成するなど、教科指導・部活動指導双方で学校と京都府の教育振興に大きく寄与しています。



各教育局の取組

乙訓教育局

「親育ネットおとくに」協議会

～地域総がかりの子育てを推進～



乙訓教育局では、乙訓地域 20 の企業・団体等の協力により「親育ネットおとくに」協議会を組織し、年6回協議会を開催して、親が親として育つための学習活動の提供やサポート等、地域総がかりで子育てを進めています。毎年秋には協議会主催の「乙訓親まなびフォーラム」を開催し、家庭におけるSNSのルール作りや不登校の問題など、保護者のニーズに合わせた講演会や、親だけでなく、子どもと一緒に楽しく学べる「親まなび講座」を実施しています。令和7年度は11月15日に開催し、講演会と5つの講座で約130名の方に参加いただきました。

今後も地域とのつながりを大切にしながら、家庭の教育力の向上を支援していきます。

山城教育局

やましろ未来っ子サイエンスラリー

～科学好き・ものづくり好きな児童生徒の育成を目指して～

山城教育局では、子どもたちが科学やものづくりの魅力にふれ、創造性豊かな人材に育つことを目指し、地域の企業・高等学校・大学・研究施設などと連携して「やましろ未来っ子サイエンスラリー」を毎年開催しています。星空観察やダム内部の見学、親子での工作や実験など、家庭だけでは体験できない学びの場に、令和7年度は延べ500名以上の方に参加いただきました。

保護者の皆さまからは「子どもと一緒に触れ合え、家でも話すきっかけになった」「高校や大学での体験は進路の参考になった」「地元企業の技術に驚き、誇りを感じた」との感想をいただいています。今後も、未来を担う子どもたちの「科学する心」と「創造する力」を育む取組を進めていきます。



丹後教育局

丹後「子育て」サポート協議会

～子どもは育てるもの？ それとも、育つもの？～

丹後「子育て」サポート協議会では、丹後の子どもの自立や成長に向けた環境設定をテーマに大人の在り方について協議を深め、大切にしたい価値観としてメッセージにまとめました。

まずは、このメッセージを大人同士あるいは子どもとの対話のきっかけとして活用いただき、子どもが本来の力を発揮できる地域づくりを進めていきたいと考えています。

『“わたしが決める”が丹後を創る』(抜粋)

子どもが決めたことを大人は信じているでしょうか？
自分が安心して決めたことに 子どもは夢になれる
夢中の先に 自ら育ち その子の未来が創られる
大人ができることは 立場を越えて対話すること
丹後で生きることを楽しむ カッコいい等身大の大人を見せること



メッセージ全文はこちら

ひとりで悩まないで！

不登校、いじめ、友人関係、学習等の学校生活のことや、家庭内での気がかりな行動等、お子さんの教育や子育てについての相談を受け付けています。

電話教育相談

ほっこりんく

～京都府 24 時間教育相談窓口～

(24 時間受付)

075-612-3268

または 3301

0773-43-0390

「ふれあい・すこやかテレフォン」から「ほっこりんく」に名前が変わりました！

メール教育相談

「メール教育相談 京都」で検索してください。携帯電話からも相談できます。

※携帯電話の場合、受信拒否設定を解除してください。



来所教育相談

巡回教育相談

京都府総合教育センター(伏見区)及び北部研修所(綾部市)で、臨床心理士、精神科医などが直接会ってお話をうかがいます。

お住まいの近くの教育局などに臨床心理士などが出向き、直接会ってお話をうかがいます。

来所教育相談・巡回教育相談のお申込みは、「ほっこりんく」にお電話ください。

家計が急変した世帯の 高校生などへの支援

失業や休業などにより収入が減り家計が急変した場合、修学資金の貸付をいつでも申請することができます。修学資金を返還している場合は、返還の猶予(返還の先延ばし)ができます。

また、失業などにより保護者など(親権者全員)の住民税所得割額の合算が182,500円未満相当となった場合、返済の必要のない給付金の申請ができます。

詳細は、ホームページをご覧ください。

高校教育課修学支援係 TEL:075-414-5043

修学支援事業
ホームページ

修学支援 京都府教育委員会 検索